



JAL不当解雇撤回・全国統一
 宣伝行動が5月14日に展開されま
 した。
 全国30箇所です5月に労働局、空
 港事務所、JAL営業所への要請
 行動や街頭宣伝行動が展開されま
 した。
 新潟でも労働局、空港事務所、
 JAL営業所への要請、新潟市伊
 勢丹脇で街頭宣伝行動を取り組み



NO. 944
 発行
 2018年
 5月23日
 国鉄労働組合
 新潟地方本部
 発行責任者
 加藤 秀夫
 編集責任者
 教 宣 部

働く権利を守る闘い

JAL全国統一 宣伝行動・要請行動

ました。

労働局への要請

労働局への要請は10時30分から
 行われ、JAL原告団から、乗員
 原告団・斎藤副団長、空乗原告団・
 加藤事務局長次長、支える会から、
 地区労会議・阿部議長、県労連か
 ら佐藤議長、支援共闘会議から、
 建交労・山崎委員長、高橋副委員
 長、富井書記長が出席し、国労か
 ら藤井副委員長が出席しました。



労働局側の回答

○労働局側は「事前に要請書を提出して欲しい。高い次元の話なのでどう答えていいのかわからない、どう取り扱った方がいいのか。
 我々のセクションから上へ上げるのは問題が無いのか。
 ○本省へ上申について、受け取るが労働局では回答できない。受け取る内容ではない。

労働局への要請については、今回、担当が違ってスムーズに要請ができませんでした。しかししっかりと、本省へ上申するよう強く要請しました。



地本主催 ポーリング大会の開催 6月23日(土)

- ★地本・ポーリング大会を開催します。会場は、新潟市「ラウンド1スタジアム」です。
- ★13時開会です。
- ★新潟駅南口から無料シャトルバスが運行しています。30分間隔で運行されています。
- ★多くの組合員の参加をお願いします。



空港事務所への要請

空港事務所への要請は14時から展開されました。
 空港事務所の回答は「会社内である行動ですから国として、どうするという意見は、はさめないが、行動として要請があったことは本省に伝える」と回答しました。

○最後にJAL営業所へ要請書を渡し訴えました。



広く市民に訴える 街頭宣伝行動

街頭宣伝行動が12時15分から新潟市「伊勢丹脇」で取り組まれました。全体で20名が参加、13時までチラシ（ティッシュ）を400個配布しました。



訴えでは、原告団・斎藤副団長、加藤事務局次長、地区労会議・阿部議長、県労連・佐藤議長、支援共闘会議・建交労山崎委員長から、それぞれ訴えがありました。国労からは3名（藤井・岡・荒井）が参加しました。



斎藤副団長の訴え

JAL・会社が不当解雇をやったことを知って欲しい。JALは儲かっているが人が足りない。不当解雇した165名を職場に戻せと皆さんの口から伝えて欲しい。2010年、会社は経営破たんした。そして165名を不当解雇した。当時、6000億円の黒字を計上した。過去最高だ。



JALは人を物のように扱う、それで社員が辞めていく。400~500名退職している。3630名の客乗が乗っている。6000名のうち半分の社員が4年以下の経験者だ。客乗が乗務中に倒れて入院するという状況が発生している。人が足りない。整備も足りない。

植木前社長が私の代で解決したいと言っていると言っている。新社長の赤坂社長も早期に解決したいと心から思っていると言っている。安心、安全なJALを取り戻すためがんばっていく。



山崎建交労委員長



加藤事務局次長訴え

JALは不当に解雇した。不当労働行為もやった。2010年JALは破たんし政府の支援で再生した。

しかし、165名のベテラン乗務員を不当解雇した。その当時、利益は目標を達成していた。ベテランを不当解雇したため現場は経験者がいない。パイロットが不足している。

2020年、オリンピックに向けて事業拡大が出来ていない。パイロットは300名辞めている。パイロットがほとんどいない状況だ。

客乗は採用されてもすぐ辞める。経験者がいない。人で不足なのに不当解雇した165名を職場に戻さない。だから解雇は整理解雇ではない。憲法違反だ。それがオリンピックのスポンサーでいいのさ。

絶対安全の原点に戻るため、8年闘ってきたことは、働く権利を守る闘いだ。



編集後記

最近、気温差が激しくて体調を崩す人がいると思います。夏日・真夏日など西日本の方は異常気象が発生しています。新潟県も27℃まで気温が上がったと思うと翌日は、最高気温が14℃に10℃以上も下がる、そんな状況が続いています。健康が第一ですね。無理せずいいきたいものです。気温が上がれば晩酌のビールがさらに美味しくなりますね。